

国内留学報告書

大阪大学大学院理学研究科高分子科学専攻 修士2年 柳原義行

留学先：高分子学会 第39回プラスチックフィルム研究会講座

「新しいフィルムの加工技術・材料」

日程：2006年12月12日(火)

会場：東京工業大学百年記念館フェライト会議室

以前から、高分子フィルムに関心があり、高分子フィルムの実際の応用例について学ぶ良い機会だと考え、今回の研究会講座に参加を希望した。

講演題目は以下の通りだった。

- 1.セルロースアセテート/ビニルポリマーブレンド体の相溶性と分子配向挙動
- 2.食品用バリアフィルムと FPD 用バリアフィルム
- 3.自動車塗膜用保護フィルムの開発
- 4.金属酸化物ナノ粒子とプラスチックとの複合材料
- 5.Cat-CVD による超ハイバリア膜形成技術

5 件の講演のうち 3 件は企業研究者の方の講演であり、実際の工業製品との関わりの深い講演内容が多く、興味深かった。食品用バリアフィルムや、自動車塗膜用フィルムがテーマの講演では、現在の産業界で工業製品がどのように応用されているか、現状を知ることができ、参考になった。普段、研究テーマと実際の工業製品との関わりを知る機会は少ないので、このような機会は貴重だと感じた。また、第一線の研究者の方々の講演であるため、フィルム関連技術に関して、現在何が主なテーマになっているかを、幅広く概観するという意義もあった。

また、5 件の講演を一日通して続けて聞くことで、集中してフィルム技術に関する理解を深めることができるように思う。

加えて、講座には大学関係者の方以外に、企業研究者の方も多く参加されているようで、普段の環境とは若干異なる雰囲気であった点が新鮮だった。

今回この講座に参加することができて有意義であった。